

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2008-221099(P2008-221099A)

【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-038

【出願番号】特願2007-61332(P2007-61332)

【国際特許分類】

B 01 L 9/02 (2006.01)

【F I】

B 01 L 9/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

実験台の実験を行なう天板上であって、作業者より離れた位置に配置された水平方向に伸びる一つの連結パイプを少なくとも有する架台と、前記架台の連結パイプの適宜位置に取り付け可能な二つの固定部材とを有し、実験にて用いられる機器類を二つの固定部材にて挟み保持することにより、前記機器類を適宜位置に固定するようにした固定装置。

【請求項2】

前記架台が少なくとも左右の支柱とこれに取り付けられた連結パイプとよりなる請求項1の固定装置。

【請求項3】

前記固定部材が、保持腕を有し、前記保持腕に固定する第1の取り付け金具と前記第1の取り付け金具に回動可能に接続され前記連結パイプに又は前記支柱に固定する第2の取り付け金具とを有し、前記第1の取り付け金具を二つの固定部材の保持腕に固定し他の第2の取り付け金具を連結するパイプ又は支柱に固定して、機器類を二つの保持腕にて保持するようにした請求項1又は2の固定装置。

【請求項4】

前記第1の取り付け金具がパイプまたは支柱を挿入し得るコの字状の開口を有する形状で、前記第2の取り付け金具が前記第1の取り付け金具を覆う形状の大きさの開口を有する形状であり、第1の取り付け金具を前記コの字状開口を利用してパイプまたは支柱に取り付け、前記第2の取り付け金具を前記開口を利用して第1の取り付け金具を覆うようにし、ねじ止めすることにより、前記第1、第2の取り付け金具をパイプまたは支柱に固定することにより、前記固定金具を固定するようにしたことを特徴とする請求項3の固定装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

又、この実施例2の保持部材は、第2の部材26の先端に爪28を設けてある。この

爪2_8により、機器の移動を阻止し、二つの保持部材による挟み付けと合わせて確実な固定が可能になる。